

# 議会 市政の報告

五條市長

榎 信晴



平成18年第4回定例会が12月4日に開会され、榎信晴市長が市政の報告を行いました。

## 新行政改革大綱

9月から今日までの市政の概要についてご報告申し上げます。

はじめに、最重要課題であります「行政改革の推進」への取り組みについてご報告申し上げます。

19年度から23年度までの行政運営の方向性を明らかにした「新行政改革大綱」を11月に策定し、現在、その具体的な取り組みである集中改革プランを策定するため、全職員が一丸となり、すべての事務事業の見直し作業を行っているところであります。

このプランは、職員定数の削減、補助金等の整理および合理化、普通建設事業の抑制、民間委託の活用など、明確かつ着実な目標を定め、改革を推進することを目的として策定するものであります。

策定後は、市民へ公表し、最小の経費で最大の効果を生むべく、経営的感覚を取り入れ、徹底した行政改革を推進してまいります。

また、この大綱における来年度の予算編成については、歳入に見合った歳出に基づく財政運営の確立のため、これまでの積み上げ方式から枠配分方式へ移行し、一般会計予算においては、本年度予算の10パーセント削減の約180億円を目標として取り組んでいるところであります。

そのため、市議会ならびに市民各位には、深いご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 五條・吉野魅惑体験

### フェスティバル

次に、「五條・吉野魅惑体験

フェスティバル」については、春から秋までの100日間にわたり、南和地域で様々なイベントを繰り広げ、地域の魅力・活力を広く発信したところであります。

本市においても、「柿づくり体験教室」、「まぼろしの五新鉄道ウォーキング」、「天誅組千早峠越えの道」、「がらり新町」等、多くの独自イベントを実施いたしました。

さらに、この催しの締めくくりにして、10月21日に「五條の燈花会」や「あかねジャズライブ」、22日には「五條吉野・おいしい市にち」をテーマに五條・吉野の「味」が大集合し、「地域の味覚」を楽しむとともに、かぼちゃ重量コンテスト、公開録音ステージ、伝統芸能等の「フイナールイベント」を開催いたしました。

当日は、天候にも恵まれ、市内外から約15,000人の参加のもと、大いににぎわいました。

また、吉野川やな漁保存会による「やな漁」も、9月中旬から10月下旬にかけて大川橋下流で行われており、昔ながらの漁法にたくさんの方々が見学や体験をされ、吉野川の自然にふれられました。

これらのイベントが、交流人口の拡大と五條・吉野地域ならびに吉野川の活性化につながるものと考えております。

## 道路整備事業

次に、「まちの活性化」の取り組みのうち、「道路整備事業」についてご報告申し上げます。

まず、京奈和自動車道五條道路および大和・御所道路の大和区間をつなぐ御所区間（橿原・大和高田インターから五條北インター間）の起工式が、10月28日に行われ、今後、早期開通に

向け国と一体となり鋭意取り組んでまいります。

次に、国道24号の拡幅整備については、「まちづくり」とあわせて道路整備を行うため、景観等に配慮した整備を検討会等で行っていることは、ご案内のとおりであります。進捗よく状況については、1工区の本陣交差点から市役所下交差点までの約200メートル区間は、現在、国と一体となり用地交渉を行っております。

また、2工区として市役所下交差点から五條裁判所前までの約300メートル区間が事業化され、道路計画および補償物件調査等について関係地権者・居住者に対し説明会を行いました。

さらに、全線1,350メートルの整備についても、引き続き、早期実現に向け鋭意取り組んでまいります。

一方、市道旧岡中線の整備事業については、商栄会通り交差点から旧五條高校跡地南側の第1次区間（160メートル）の用地買収が、9月末で完了いたしました。

今後、公共下水道事業および水道・ガス管移設等の整合性を図りながら、この区間の早期整備に鋭意取り組んでまいります。

## 街なみ環境整備事業

次に、新町地区の「街なみ環境整備事業」についてご報告申し上げます。

修景施設整備補助事業については、本年度で7件の申請を受け、うち2件が完了しました。これで42件の施設を整備し、歴史的な町並みの景観整備が進んでおります。

また、事業の進捗よくとともに学校の校外学習、秋の行楽やイベント開催の効果もあり、最